

Title	私の本棚
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾大学工学部
Publication year	2011
Jtitle	新版 窮理図解 No.6 (2011. 1) ,p.7- 7
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO50001002-00000006-0007

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

私の 本棚

My favorite books



● Probabilistic Robotics

ロボットが入る生活に近い環境で動くとき、環境やシステムに存在する不確かさや予測が難しい事象への対処が必要になります。その実現の1つのアプローチとして、確率的なアプローチによる設計法があります。この本では、数学的背景や確率ロボティクスの主要な

アルゴリズムが実装例や実験結果を示しながら解説されています。翻訳書として『確率ロボティクス』もあります。病院内で荷物を搬送するロボット MKR-003 が人間の存在する環境で安全に移動するための行動アルゴリズムを開発する際に見つけた1冊です。

● ものづくり敗戦 受験生や大学生に

読んでほしい1冊です。制御理論の大家である木村英紀先生著。日本の科学技術の発展について歴史をたどって解説し、現状の本質的問題について論破しています。ますますグローバル競争が激しくなるなか、今、何を学ぶべきかを考えるきっかけにしてくれればと思います。多くの情報が比較的簡単に入手できる時代だからこそ、本質を見極める能力を身につける訓練を日々続けてほしいと思います。

● Introduction to Dynamics and Control 助手に

なったとき、指導教員である吉田和夫先生から紹介していただいた力学、振動工学、制御理論の基礎に関する教科書です。吉田先生が「力学の教科書にはいくつかの流儀があり、この参考書が自分の流儀に合っている」と言っていたことを思い出します。今、学科の力学の講義を担当するようになり、教える内容や順番について毎年考えさせられることが多く、その言葉の意味を実感しています。

● バトリシア・コーンウェル「検屍官シリーズ」

ミステリー小説シリーズです。法科学が大きな役割を果たし、最新の科学捜査を導入して事件を解決へと導いていきます。主要人物の設定が詳細に書かれ、作品を追って各々の人生も進展していくので、ぜひ初刊から読んでみてください。昔は証拠になると思われていなかったものが事件解決の糸口になるなど、最新の科学捜査が興味深く読んでいます。

● Space Vehicle Dynamics and Control

宇宙機の力学と制御に関する学術書です。動的システムのモデリング・アナリシスと制御、軌道力学と制御、姿勢の力学と制御、構造力学と制御、先進的宇宙機の力学と制御の5部構成で、基礎から応用まで幅広く網羅した内容になっています。数多くの数値解析例や文献が示されているため、宇宙機の力学と制御について深く専門的に学べる1冊です。

● 遠い空の向こうに (October Sky) [DVD]

元NASA技術者ホーマー・H・ヒッカム氏の実話に基づいた作品です。1957年、ソ連が打ち上げた人類初の人工衛星スプートニクを見た大きな衝撃から、

高校生のホーマーはロケット作りに挑戦。クラスメートとの友情、厳格な父との確執と和解、教師や母親など温かく支える人々との出会いなど、さまざまな経験を通じてホーマーが成長していく過程を描いています。私自身の大きな転換期にも、支え、理解してくれた人との出会いがあったことを思い出させてくれます。あまりに感動して3回も映画館に見に行った、思い出の1本です。